

株式会社エフピコ
2026 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会 質疑応答（サマリー）
(2025 年 11 月 5 日)

Q：下期の製品数量を 102.5%から 101.5%に下方修正しているが、物価高が下期にどれくらい影響するのか、また、スーパーマーケットよりもコンビニエンスストアが不調である理由について教えてほしい。

A：コンビニエンスストアについては単価の上昇が要因だと認識している。スーパーマーケットは回復基調にあり、シェアが取れていることも含めて下期の製品数量計画を 101.5%と設定した。10 月速報値は前年同期比 103.2%。

Q：資本効率を踏まえて、自己株式取得を実施する可能性はあるのか教えてほしい。

A：可能性はある。しかし、新 OPP の大きな投資が控えているので、この事業を軌道に乗せてリターンを出すことを優先的にやりたいと考えている。

Q：新 OPP についてお聞きしたい。大手メーカーによる技術開発が成熟した汎用プラスチックであるポリプロピレンがこれまで 2 軸延伸シート化されなかった理由や、エフピコにそれができた要因を教えてください。

A：新 OPP シートは、食品容器として成形可能な 150 ミクロン厚以上の 2 軸延伸シートを開発しようとするところから研究が始まっている。2 軸延伸フィルムにおける世界の技術開発の潮流は、例えば 2 ミクロンのような薄肉化の方向性となっているが、当社は結果としてその流れとは逆の方向で研究開発を進めたことで、非常に高い機械物性を持つシートを開発できた。

Q：新 OPP について、競合他社に真似されるリスクや参入障壁をどのように築くのか教えてほしい。

A：新 OPP シートは、ブルックナー社との 10 年以上にわたる研究開発の成果であり、さらにポリプロピレンメーカーとの技術連携によって進化させた製品である。このように高度なノウハウに支えられていること、また、当然ながら特許も取得していることから、容易に模倣されるものではない。

Q：「競争優位性」のスライドに関してお聞きしたい。業界全体の利益が変わらない中で、エフピコの占める割合が非常に高くなっている。他社のシェアを取るより業界全体の利益を上げる必要があると思うが、今後 5 年間で業界全体の利益は増える見込みか教えてほしい。

A：業界全体での利益動向は特に考えていない。当社の利益は増えると見ている。

Q：上期は値上げと原料が想定よりも下がったことで収益性が向上したが、人件費、物流費、電力費などの費用が高くなっているため、継続的な値上げなしには利益率は上がらないと考える。来期以降の固定費の上がり方と利益率の考え方について教えてほしい。

A：販売が伸びていれば値上げは必要ないと考えている。新しいマーケットが立ち上がると見ており、具体的な時期や数量の明言は難しいものの、かなり市場は大きくなると見込んでいる。

Q：冷凍食品の増加により調理済み食品の容器が減少する（カニバリゼーション）と思うが、見解を教えてください。また、病院介護給食については数年前より説明されているが、現時点でも数量の予測はつかないのか教えてください。

A：病院介護給食ではワンウェイ容器は使われておらず、回収・洗浄されている。人手不足によりその運用の維持が困難になってきているため、当社にとっては新しいマーケットが生まれると認識している。数量の予想はつきにくい。お客様の投資にも関係することであり、気が付いたら非常に広がっているという形で進むと見ている。既に成功モデルも出てきている。

以上